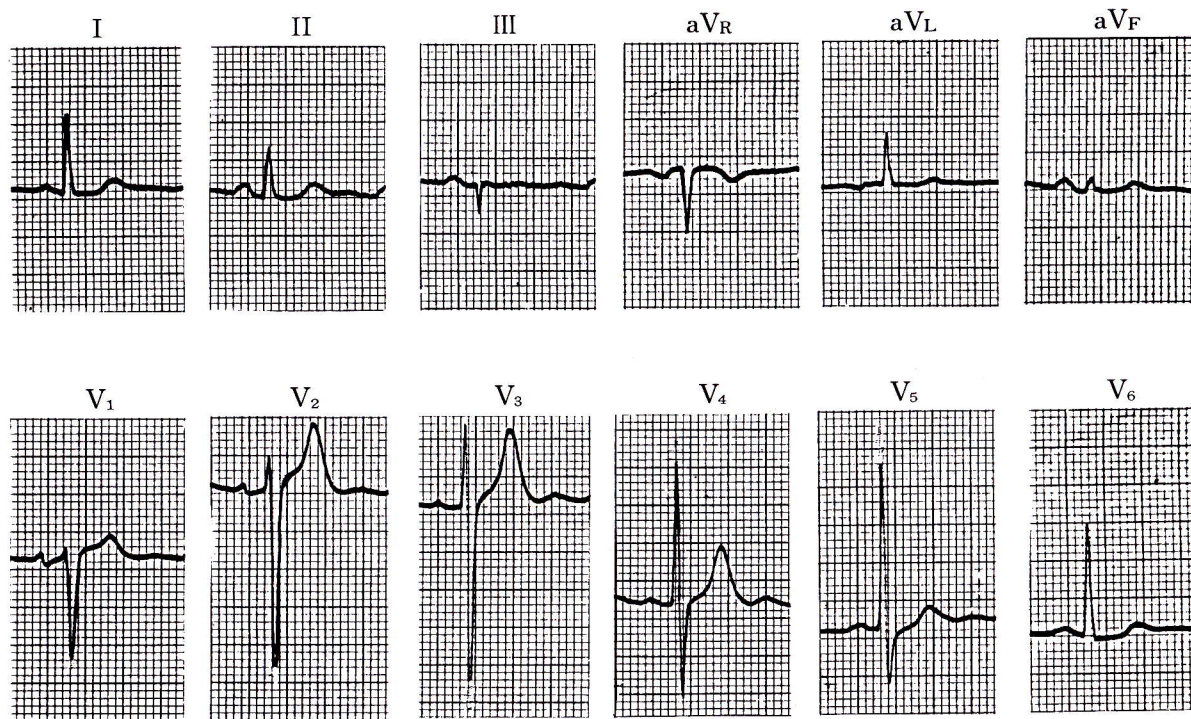


症例 2

●32歳 男

●ときどき動悸を自覚するため精査希望して来院。



- 1) IIIでQSパターンがみられるが異常か.
- 2) 前額面電気軸は正常か.

正常（横位心）

aV_FでQRS波の振幅がもっとも小さく、(R-S)が0に近い。横位心である。IIIはQSパターンであるが、これは横位心ではよくみられる所見であり、II, aV_Fに有意なQ波がないため下壁梗塞とはいえない。V₅, V₆のT波はR波に比

し、やや低く、V₆のST部分も水平型で0.5mm程度低下しているが、心筋傷害をとるほどではない。V₁のP波が2相性であるが、陰性部分は小さく、見過ごしてよい所見である。

MEMO

〈前額面(平均)QRS電気軸〉

前額面電気軸は $+110^{\circ} \sim -30^{\circ}$ の間が正常であり、 0° に近いものを水平位心、 $+90^{\circ}$ に近いものを垂直位心という。電気軸が $-30^{\circ} \sim -90^{\circ}$ の間にある場合を左軸偏位、 $+110^{\circ} \sim +180^{\circ}$ の間を右軸偏位とする。 $-90^{\circ} \sim -180^{\circ}$ の間は高度の右軸偏位でも高度の左軸偏位でもありうるため、過度の軸偏位とする。

前額面QRS軸と心臓の解剖学的な長軸とは必ずしも一致しない。QRS電気軸は解剖学的心軸より敏感に変化し、心臓の位置ないし形態異常の早期診断に役立つ。

